

令和4年度 野外環境放射線（能）測定結果

測定結果は、放射線安全、環境安全評価上、問題となるものではありませんでした。

1. 空間線量率

2か所の測定地点で連続して測定を行い、結果については、右の地図上のグラフに示します。

2. 積算線量測定

区分	測定地点	四半期平均値 ($\mu\text{Sv}/91\text{日}$)	四半期最大値 ($\mu\text{Sv}/91\text{日}$)	年間平均値 ($\mu\text{Sv}/365\text{日}$)
周辺監視区域内	4 (①~④)	200	220	804
事業所外	6 (⑤~⑩)	190	235	764

3. 環境試料分析

【 β 放射能】

区分	試料数	採取地点	年間平均値 (最小値~最大値)
陸水 (Bq/L)	1 2	原研前マンホール 小阪ポンプ場	0.36 (0.12 ~ 0.62)
底質土 (Bq/kg 乾土)	1 2	原研上流マンホール	734 (658 ~ 862)

【 γ 線スペクトル分析】

区分	採取地点	人工核種 (最大値) ※	主な天然核種 (最大値)
土壌 (Bq/kg 乾土)	近大記念会館	セシウム 137 0.9 ± 0.3	カリウム 40 720 ± 9
植物 (Bq/kg 生)	近大構内 (サンゴジュ) (ツバキ) 小阪ポンプ場 (サンゴジュ)	検出されず	カリウム 40 203 ± 3
陸水 (Bq/L)	原研前マンホール 小阪ポンプ場 原研上流マンホール	検出されず	カリウム 40 0.34 ± 0.02
底質土 (Bq/kg 乾土)	原研前マンホール 小阪ポンプ場 原研上流マンホール	セシウム 137 0.7 ± 0.2	カリウム 40 650 ± 9

※ 検出されたセシウム 137 は 1960 年代の核実験の影響と判断される低いレベルでした。

環境放射線等の測定及び環境試料の採取場所

